

森林シンポジウム ～J-クレジット・民間資金による森林整備と脱炭素貢献～  
第一部 森林吸収系J-クレジットの創出・活用の拡大  
クレジット活用の事例紹介

# J-クレジットの地産地消を目指した ごうぎんの取り組み

---

株式会社山陰合同銀行  
地域振興部  
部長 井上 亮  
2024年2月28日

# 山陰合同銀行のプロフィール

## 経営理念

地域の夢、お客様の夢をかなえる創造的なベストバンク

本店	島根県松江市
資本金	207億円
預金等	5兆6,588億円
貸出金	4兆3,434億円
有価証券	1兆5,597億円
自己資本比率	12.11%
拠点数 (国内 / 海外)	108 / 3
従業員数	1,850名

(2023年3月31日現在)

全国で唯一2県（鳥取県・島根県）の  
指定金融機関を担う地域金融機関、  
通称：『ごうぎん』です。



# Contents

1 J-クレジット販売仲介の取り組み

2 J-クレジットの活用事例

3 J-クレジットの創出支援とカーボンクレジット市場への参画

4 最後に



# Contents

1 J-クレジット販売仲介の取り組み

2 J-クレジットの活用事例

3 J-クレジットの創出支援とカーボンクレジット市場への参画

4 最後に



# J-クレジットの取組開始（問題意識・経緯）

## 経緯

2009年9月に、鳥取県より**オフセット・クレジット制度**（当時J-VER 現在J-クレジット制度）の案内を受けました。

当時、**鳥取県は全国で2番目という速さでJ-VERを認証・取得**されましたが、制度の認知が追いついていなかったこともあり、制度普及と販売促進の相談を受け協働について検討を開始しました。

## 問題意識

当行は2006年より、役職員による「**ごうぎん希望の森（森林保全活動）**」や「**山陰ネットワーク会議（環境活動を実施する団体のネットワーク）**」の活動を行うなかで、**森林保全への資金循環を促す取り組みが必要**であるという課題に直面しており、J-VER制度の有効な活用に課題解決の糸口を見出しました。

## アウトプット

継続的に協働できる仕組みを検討するなかで、鳥取県の制度として「**鳥取県J-VER地域コーディネーター**」制度が創設されました。  
**（当行は第1号認定事業者）**



ごうぎん希望の森

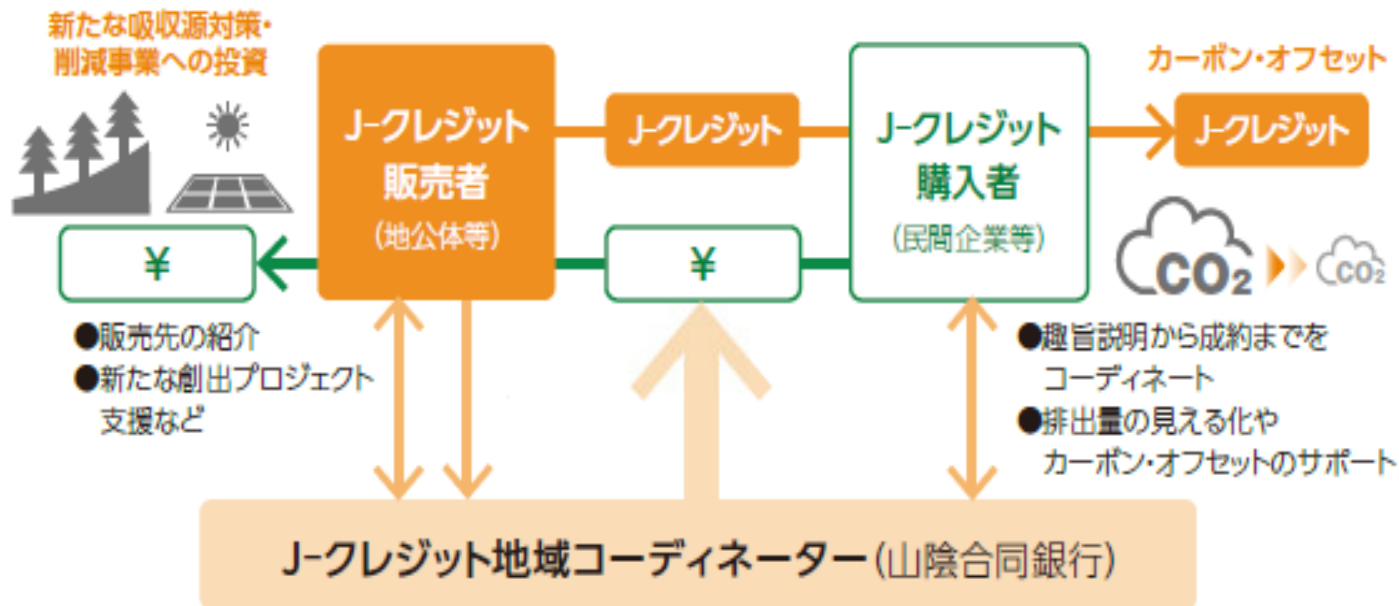


（事務局：ごうぎん）



## J-クレジット地域コーディネーター制度

- J-クレジット地域コーディネーター制度とは、カーボン・オフセットに取り組む事業者・団体等に対し、J-クレジットを活用したカーボン・オフセットの提案や、J-クレジット販売者とのマッチング支援を行うスキームです
- 制度創設にあたっては、制度が持続的かつ面的な広がりを見せるものとなるよう、販売者、購入者、仲介者それぞれが取り組み意義を見出せる仕組みとなるよう工夫しました



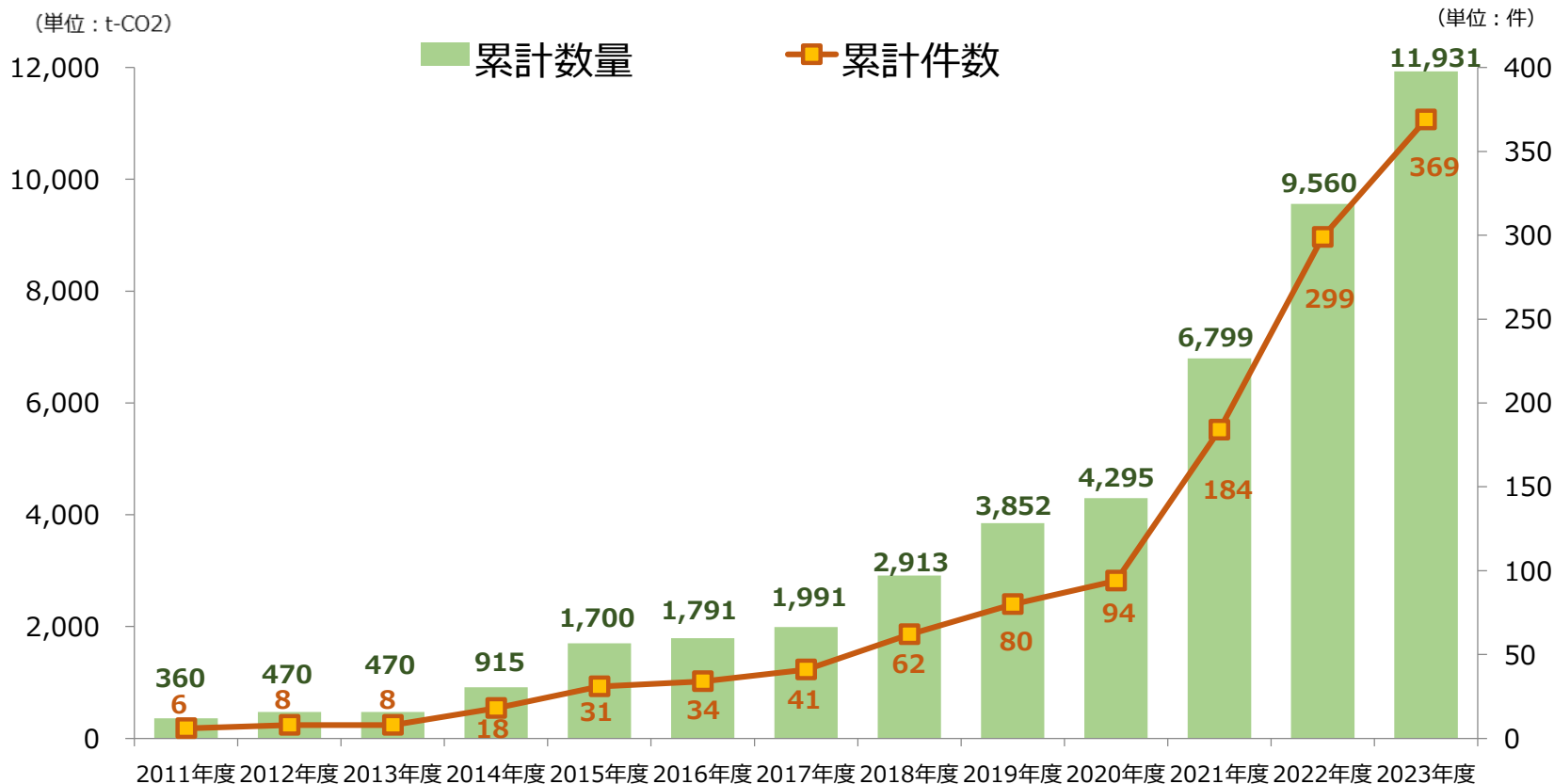
## J-クレジット販売仲介支援先

- 現在のJ-クレジット販売仲介支援先（ビジネスマッチング契約先）は10先です
- 鳥取県に加え、鳥取県日南町や兵庫県養父市も「J-クレジット地域コーディネーター制度」を導入しています

地域	販売者	発生由来	販売代金の活用方法等
島根県内	(株)たなべたらの里	森林吸収	社有林の間伐をはじめとした森林整備に活用されます。
〃	須山木材(株)	森林吸収	森林経営計画に則した適切な森林管理、環境保全活動に活用されます。
〃	飯南町	森林吸収	町が行う植栽、間伐等の森林育成活動や環境保全活動に活用されます。
〃	出雲市	再エネ導入	市の森林再生のために活用されます。
鳥取県内	鳥取県	森林吸収	県が行う県有林の保全活動に活用されます。
〃	鳥取県造林公社	森林吸収	公社が行う県有林の保全活動に活用されます。
〃	日南町	森林吸収	町が行う植栽、間伐等の森林育成活動や森林教育活動に活用されます。
〃	日南町森林組合	森林吸収	組合が行う植栽、間伐等の森林育成活動や環境保全活動に活用されます。
〃	鳥取県中部森林組合	森林吸収	組合が行う植栽、間伐等の森林育成活動や環境保全活動に活用されます。
兵庫県内	養父市	森林吸収	市が行う植栽、間伐等の森林育成活動や環境保全活動に活用されます。



# J-クレジットの販売仲介活動の実績（累計）



※2023年度実績は2024年1月末日実績



# Contents

1 J-クレジット販売仲介の取り組み

2 J-クレジットの活用事例

3 J-クレジットの創出支援とカーボンクレジット市場への参画

4 最後に



## カーボン・オフセット取り組み事例①

### <事例：畜産業をサステナブル事業へ>

- ▶ 雲南省の(株)熟豊ファームでは、「サステナブル和牛」の生育を行っておられます。牛のゲップには温暖化ガスであるメタンガスが多く含まれており、J-クレジットの購入によりその一部をオフセットすることで、サステナブルな畜産業の実現を目指しておられます。



飯南町との調印式

鳥根県飯南町のJ-クレジットを20t-CO<sub>2</sub>され今後も定期的にJ-クレジットを購入し、持続可能な地域社会の実現に向け取組をされる予定です。

出所：(株)熟豊ファームHPより一部抜粋し作成

### <事例：年間電気契約数×杉1本分のJ-クレジット>

- ▶ 米子市の(株)中海テレビ放送では、「chukai電力」の契約数1契約につき、日南町の杉の木1本分のCO<sub>2</sub>吸収量相当のJ-クレジットを購入し、持続可能な地域社会の実現に貢献する活動を継続的に実施しておられます。



日南町との調印式

鳥取県日南町の杉の木1本が年間に吸収する温室効果ガスに相当する日南町有林J-クレジットを購入。日南町は、植林や森林整備を行い循環社会の形成を目指しています（累計購入量189t-CO<sub>2</sub>）。

出所：(株)中海テレビ放送HPより一部抜粋し作成

## カーボン・オフセット取り組み事例②

### <事例：社員家族を巻き込んだSDGsの取組>

- 米子市の(有)福井事務機では、自社の営業活動から排出される温室効果ガスをオフセットするため、毎年日南町よりJ-クレジットを購入しております
- 売買契約調印式には、社員のご家族も参加されており、調印式終了後には、実際に日南町の森林で、日南町の職員の方を講師とした森林教室を開催しております
- 森林教室では、枝打ち体験や、森林の持つ多面的な役割を学び、環境に対する意識醸成を図っております

**J-クレジットを購入し、オフセットして終わりではなく、社員参加型のSDGs取組体験とした、特徴的な事例です**

出所：日南町HPより抜粋





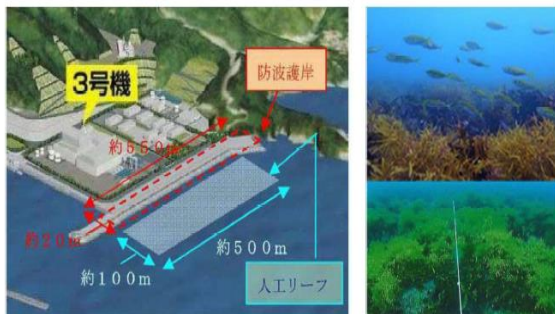
# 松江市と連携したJブルークレジットの活用

- 2023年4月、松江市が脱炭素先行地域に選定（ごうぎんも共同提案者として申請段階から参画）
- 具体的な取り組みの1つとして、中国電力(株)が創出したJブルークレジットを活用した日本初の旅行商品の造成やB1リーグ島根スサノオマジックの試合でカーボンオフセットゲームを開催

## 松江市内で創出された Jブルークレジット®の初めての活用

島根原子力発電所の防波護岸(日本海)での藻場造成 (中国電力)

- 防波護岸の機能を高めるため人工リーフを造成
- 人工リーフで育成した海藻類によるCO2吸収について  
2022年11月にJブルークレジット®の認証取得(15.7t-CO2)



認定取得したJブルークレジット®を活用！

## 日本初の 旅行商品造成！

旅行の移動時に排出されるCO2を  
Jブルークレジット®で埋め合わせ！  
【12/15から販売開始】  
個人型旅行商品では  
日本初！

## カーボンオフセット スペシャルゲーム開催！

松江市総合体育館で排出されるCO2を  
Jブルークレジット®で埋め合わせ！  
【12/30 13:35 TIP-OFF】  
島根スサノオマジック初の  
スペシャルゲーム！

出所：松江市作成資料より抜粋

# Contents

1 J-クレジット販売仲介の取り組み

2 J-クレジットの活用事例

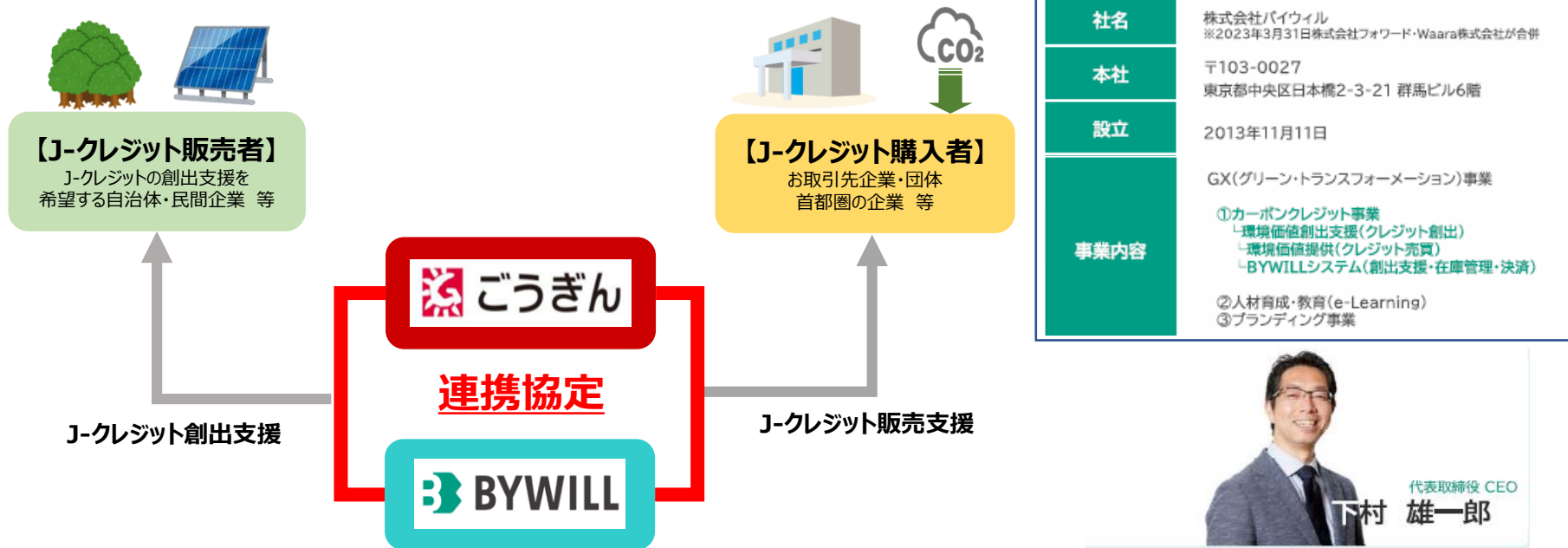
3 J-クレジットの創出支援とカーボンクレジット市場への参画

4 最後に



# 株式会社バイウィルと連携したJ-クレジットの創出支援の開始

- 2023年より、株式会社バイウィルと連携し、「**J-クレジットの創出支援**」を開始しました
- これまでJ-クレジットを創出したことがない自治体や森林組合、また林業関連事業者様などから、すでに多くのご相談をいただいております

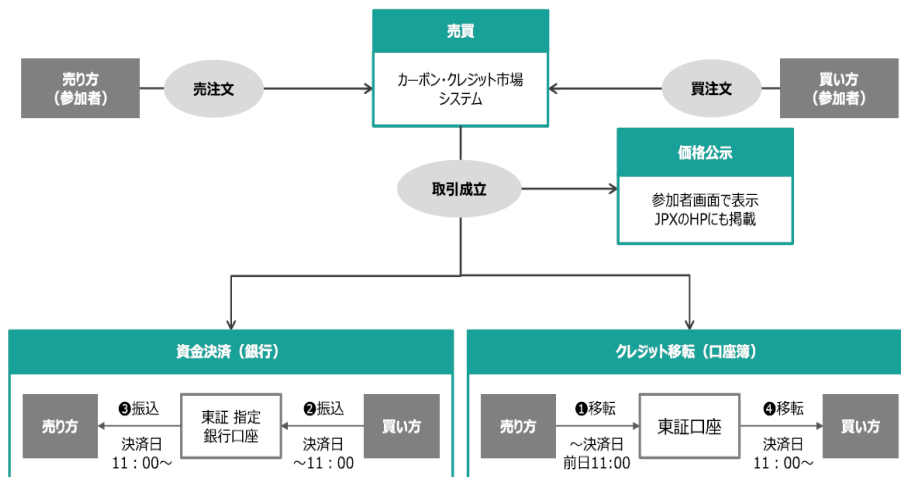


出所：(株)バイウィル作成資料一部抜粋

# カーボン・クレジット市場への参加

- 2023年10月に東京証券取引所が開設した「カーボン・クレジット市場」に参加しました
- 今後、カーボン・クレジット市場への参加を通じて、J-クレジットの流通促進、また市場規模拡大に貢献していく方針です

## 【カーボン・オフセット市場の仕組み】



## News Release

株式会社山陰合同銀行  
 〒690-0062 鳥取県松江江市赤町 10  
 TEL.0852-55-1000  
<https://www.gogin.co.jp>

2023年10月11日

### 「カーボン・クレジット市場」への参加について

ごうぎんは、東京証券取引所が本日開設した「カーボン・クレジット市場」(以下、「本市場」)へ中国地方の地域金融機関として唯一参加しましたのでお知らせします。(本市場参加社数は188社)  
 当行は、長年行ってきたJ-クレジットの販売仲介や創出支援、昨年設立したごうぎんエナジー株式会社によるPPA事業の推進に加え、本市場を活用したカーボン・クレジットの取引にも取り組むことで、地域の脱炭素・カーボンニュートラルの実現をグループ全体で後押しするとともに、真に持続可能な地域社会の形成に向けて尽力してまいります。

#### 【カーボン・クレジット市場概要】

政府は2050年カーボンニュートラル目標実現のため、本年2月に「GX実現に向けた基本方針」において「排出量取引制度」の導入を示し、2023年度からの試行取引、2026年度からの本格稼働を予定しています。

本市場はその一環として開設された「カーボンニュートラルに向けた排出量の取引プラットフォーム」であり、再生可能エネルギーの活用や森林整備によるCO<sub>2</sub>排出量削減分を国が認証する「J-クレジット」が売買されます。

詳細は東京証券取引所ホームページをご参照ください。  
<https://www.jpx.co.jp/equities/carbon-credit/index.html>

以上





# Contents

1 J-クレジット販売仲介の取り組み

2 J-クレジットの活用事例

3 J-クレジットの創出支援とカーボンクレジット市場への参画

4 最後に



## J-クレジットを通じてサステナビリティを考えるきっかけに～地産地消の実現～

- 地域のサステナビリティ（SDGs）に向けた取り組みの第一歩として、様々な業種・業界が一緒になって「J-クレジット」の活用に取り組むことによって、重層的かつ多面的に地域の持続可能性を高めることができます
- 取引先にJ-クレジットの活用を提案する際は、可能な限り地域で創出されたJ-クレジットをご提案することで、J-クレジットの「地産地消」を推進し、地域の環境保全等を通じた持続可能な社会の実現に貢献することを支援しています



ご清聴ありがとうございました

